

提出された意見等の概要とこれに対する考え方

案 件 名 : ひょうご公共交通 10 年計画(2021-2030)

意見募集期間 : 令和3年3月1日～令和3年3月22日

意見等の提出件数 : 11件(4人)

項目等	意見等の概要	件数	県の考え方
第3章 計画の目標 目標3 誰もが利用しやすい公共交通	子育て世帯や子供でも利用しやすい公共交通を目指してほしい。	1	【既に盛り込み済】 計画の目標3に「誰もが利用しやすい公共交通」を位置づけており、子育て世代や子供等、誰もが公共交通を利用する際に安全・安心で支障なく快適に移動できる環境づくりを目指すこととしています。(本文P53)
概要 1/4 計画の目標 目標5 地域でまもり育てる公共交通 公共交通を担う人材の確保、育成	運転手の人材確保に向けて、魅力ある仕事にするような施策はあるのか。	1	【既に盛り込み済】 行政と交通事業者が連携し、バス運転手の募集記事の市公報誌への掲載やバス運転体験会の開催等により、運転手の仕事内容や社会的役割を広く周知していきます。 (本文P119、施策④⑧) 地域住民に対し、公共交通が持つ多面的な効果への理解促進に取り組むことを通じて、運転手の仕事の社会的役割や魅力を発信していきます。 (本文P121、施策⑤⑩)
第4章 目標の実現に向けた基本方針及び施策 基本方針1 地域特性に応じた移動手段の確保	実家が限界集落で帰省が困難なため、軽トラでもいいのでどうにかして交通手段を確保してほしい。	1	【既に盛り込み済】 地域の実情に応じて、自主運行バス(地域住民等が運行主体の自家用有償旅客運送)や乗合タクシー等のデマンド交通を運行すること等により、交通空白地域、交通不便地域における移動手段を確保していきます。 (本文P67、施策⑥)
第4章 目標の実現に向けた基本方針及び施策 基本方針3 公共交通の利用環境改善	乗り継ぎする駅やバス停には、トイレと簡単な買い物ができるような施設を充実させてほしい。	1	【既に盛り込み済】 鉄道駅では、待合室やトイレ、物販・飲食店等の整備・改修を進めます。バス停では、上屋やトイレ、ベンチ等の整備に加えて、道の駅や病院、商業施設等の既存施設の乗り継ぎ拠点への活用を推進していきます。 (本文P91、施策⑫)
第4章 目標の実現に向けた基本方針及び施策 基本方針1 地域特性に応じた移動手段の確保	高齢者は駅やバス停までの移動が辛いので、対策をお願いしたい。	1	【既に盛り込み済】 利用者のニーズにきめ細かく対応するため、デマンド型交通の導入やタクシーの活用等を推進すること等により、自宅から駅やバス停までの端末移動手段の確保を進めていきます。 (本文P75、施策⑫、本文P79、施策⑬)
第4章 目標の実現に向けた基本方針及び施策 施策推進上の配慮事項	今後、地方部ほどバス運転手の確保が難しくなる。 <u>新技術の積極的活用</u> に自動運転技術を入れるべき。	2	【ご意見を反映】 本文 55 ページの <u>施策推進上の配慮事項(1)新技術の積極的活用</u> において、「自動運転」を追加しました。 (概要1/4についても同様に追加)

項目等	意見等の概要	件数	県の考え方
<p>第4章 目標の実現に向けた基本方針及び施策</p> <p>基本方針1 地域特性に応じた移動手段の確保</p>	<p>高齢者でも運転できるゴルフカートを公道利用できるようにしてほしい</p>	1	<p>【既に盛り込み済】</p> <p>高齢者でも比較的運転しやすく、公道で利用可能なグリーンスローモビリティ（小型、電動、時速 20km 未満で走行、4人以上が乗車可能）の公共交通としての本格導入に向けて、事業モデルの検討を市町等と検討していきます。 （本文 P67、施策⑮）</p>
<p>第4章 目標の実現に向けた基本方針及び施策</p> <p>基本方針1 地域特性に応じた移動手段の確保</p> <p>基本方針3 公共交通の利用環境改善</p>	<p>淡路島は、鉄道がなくバスが重要である。淡路は3市あるが、生活圏は一体で市境の関係なく移動している。 公共交通をもっと使いやすくするために高速バスを鉄道のように見立てて、路線バスとコミバスを最大限活用して、島内の移動の利便性を高めてもらいたい。</p>	1	<p>【既に盛り込み済】</p> <p>通勤や通学、日常の買い物や通院等の地域住民の生活圏を踏まえ、コミュニティバスの広域運行を推進することにより、淡路島内における移動の利便性向上を図っていきます。 （本文 P74、施策⑪） 高速バスと路線バス、コミュニティバスのダイヤ調整により乗り継ぎの円滑化を図っていきます。 （本文 P98、施策⑳）</p>
<p>第4章 目標の実現に向けた基本方針及び施策</p> <p>基本方針3 公共交通の利用環境改善</p>	<p>バスの乗り方がわかりにくい。 普段バスを利用しない地元の人や観光客でもバスの乗り方や行先、時刻表などがわかるような取り組みを進めていただきたい。</p>	1	<p>【既に盛り込み済】</p> <p>乗換時刻案内板やデジタルサイネージの整備、案内表示の改善等により、わかりやすい情報提供・案内を推進していきます。（本文 P95、施策㉔） バスの運行情報データの整備により、スマートフォン等での経路検索時のサービス向上を図っていきます。 （本文 P102、施策㉑）</p>
<p>第4章 目標の実現に向けた基本方針及び施策</p> <p>基本方針1 地域特性に応じた移動手段の確保</p> <p>基本方針3 公共交通の利用環境改善</p>	<p>全体的に高齢者への対応が中心の内容となっている。 学生のためにバスを利用しやすいようにしていただきたい。 現状の路線バスは、便数が少なく、最終便も早くなっており、高校生が利用し難くなっており、父兄の送迎が中心になっている。</p>	1	<p>【既に盛り込み済】</p> <p>地域住民の様々なニーズを把握するため、アンケート調査等を行いデータに基づき、施策の検討、実施、改善の取り組みを推進していきます。 （本文 P102、施策㉑） 路線バスの再編・再構築を実施する際には、路線の見直しに合わせて、ダイヤの改正等により、利用者の利便性向上にも配慮していきます。 （本文 P72、施策⑩）</p>